

中枢神経系原発悪性リンパ腫（PCNSL）患者のご紹介のお願い

以前から情報をお伝えしておりますが、JCOG 脳腫瘍グループでは、テモダールの PCNSL への適応拡大を目的として第三相試験を行っております（添付パワーポイントファイル 1 ページ）。

High-dose MTX 後の全脳照射を標準治療と位置づけ、これにテモダールを付加するデザインの試験です（添付パワーポイントファイル 2 ページ）。

米国では、後追いで、やはり本疾患にテモダールを用いる臨床試験が立ち上がり、第二相試験部分が一昨年発表されました。その 2 年生存割合は 80%で、私どもの JCOG1114 の期待値とほぼ同様の値となっています（添付ファイル 3, 4 ページ）。

JCOG1114 は先進医療 B を用いて、テモダールの適応拡大をゴールとしています（添付ファイル 5 ページ）。先進医療 B 制度の立ち上がりの手続きに時間を要した影響が残っていて、症例集積が遅れております（添付ファイル 6 ページ）。テモダールを無償提供していただいている MDS との契約の関係から、本年 8 月末に規定の症例数を登録しないと、n が足りないまま試験が終了してしまう可能性が浮上して参りました。

そこで、最後のお願い、でございます。本疾患を優先的に JCOG 脳腫瘍グループ（添付リスト）にご紹介頂けないでしょうか。患者適格基準も添付いたします。本疾患は高齢者が多いために半数は本試験の適格にならないこと、また、施設によって R-MPV などを用いていらっしゃる場所も少なくないことなどは承知しておりますが、本年 8 月までの間は、是非ご紹介の労をお取り頂けますと幸いです。テモダールの適応症に本疾患が加わることは臨床的に意義の大きいことと信じております。何卒ご協力の程を、よろしくお願い申し上げます。

JCOG 脳腫瘍グループ代表

埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科

西川亮

rnishika@saitama-med.ac.jp